

## 1. 評価結果概要表

作成日 2009年4月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0894200013
法人名	有限会社 スズショウ
事業所名	グループホーム えがお
所在地	茨城県結城郡八千代町落田161-10 (電話) 0296-48-3915

評価機関名	特定非営利活動法人 認知症ケア研究所		
所在地	茨城県水戸市元石川町2523-3		
訪問調査日	平成21年3月15日	評価確定日	平成21年6月10日

## 【情報提供票より】(平成 21年 3月 1日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 18年 7月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	8 人	常勤 4 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 人	

## (2)建物概要

建物構造	平屋 造り		
	1 階建ての 階 ~ 階部分		

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

## (4)利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名
要介護3	5 名	要介護4	3 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.3 歳	最低 75 歳	最高 93 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	菊山医院
---------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周囲の環境は、農村地区の広大な敷地に平屋造りの優しい建物であった。敷地内にホームが所有する畑もあり、入居者が農産物の収穫も楽しめる環境である。裏庭には、広いウッドデッキ・その先に芝生が敷き詰められている。その芝生を利用し時折屋外でバーベキュー等も楽しめるようになっている。また、オーナー自身もホームの業務にかかわりながら入居者のサービスの資質の向上・ホームと地域との関わりがもてるよう支援されている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の結果を管理者が把握しておらず、今回の評価調査の結果を踏まえ改善に向けて取り組んでいただけるとのことであった。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の外部評価に関しては、管理者が記入した自己評価項目が職員に職員会議等で提示され職員がいつでも閲覧できる状態にされていた。職員からは、今後の自己評価に向けて積極手に取り組んでいきたいとの発言も聞かれた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は前回開かれて以来開催されておらず、今後の取り組みが期待されることである。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホームには玄関先に苦情箱等も設置され入居者の家族が意見を述べやすい環境が整えられている。ホームの管理者が自ら家族との接点を多くとることにより家族が意見を言い易い状況を作り出すように支援されている。今後は家族の意見を更に引き出せるよう「アンケート」等の工夫が望まれることである。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	職員は、入居者の日常生活のペースを乱さないようにゆったりした支援がされ入居者の表情も穏やかであった。ケアプランも生活に則して立案されていた。しかし、その計画が実際のケア記録に生かされておらず、また更新もされていない状況が確認された。今後は立案された介護計画を実践され、モニタリング、評価が職員と共に進めていくことを期待する。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの名称にもなっている「えがお」を実践すべく、職員同士が行う朝礼において法人の理念を復唱し職員間で共有できるよう工夫されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ボランティアさんが来訪していただき入居者さんと共に過ごしていただくなど日々の生活の中で楽しんでいただけるよう取り組んでいる。	○	掲げられている理念を入居者の日常生活に反映させていただけよう日々の介護に生かされ入居者が「普通」の生活をしながら「えがお」がある豊かな生活をおくれるよう実践に取り組んでいただきたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティアさんを積極的に受け入れる。イベント時には地域の方に来ていただくなど地域との交流を積極的に行い地域との交流をすすめている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度と管理者等が変更になっており申し送り等がなされなかったため前年度の外部評価調査を生かすことが出来なかった今後は、この評価調査を活かし具体的に取り組んで行きたいと考えている。	○	運営者・管理者・職員が実際に介護を行っていくにあたり、自己評価を行うなってみる、その結果を実践に活かせる工夫をする、など取り組んでいただきたい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は今年度実施されていない。	○	運営推進会議は、行政・事業所・地域・利用者家族が一体となりグループホームに住まう方がより良い生活を営むために実施されることが望ましいと考えられる。今後運営推進会議を活用され、それらの意見を反映させていただきより良いホームの運営をしていただく事を期待する。

茨城県 グループホーム『えがお』

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当市町村と相談しながら当該ホームを立ち上げた経緯もあり、ホームの持つ機能を地域に生かすため相談しながらホームが運営されている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	現在家族会はないが、今後家族会も設立していく意向がある。現在は面会・その他の催し物を開催した時などの機会を利用し入居者ひとりひとりの様子を定期的報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現在苦情等は殆どないが、ご意見箱等も設置されている。また、入居されている方が家族と近隣の方が多いため法人オーナーが窓口になり積極的に意見を取り入れている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員全員が2ユニットの利用者情報を把握しながら介護にあたる。また、できるだけ異動等を最小限に抑える工夫がされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は、外部研修に参加するにあたり費用を法人が負担するなどの措置を講じ職員が研修に参加しやすい体制が整えられている。		外部研修も含め職員が経験年数等に応じた研修の機会がもてる。また、学習してきた内容が全職員に伝わる伝達研修のような仕組みを構築され職員全体の資質の向上に繋げていただきたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	一部の事業所に見学に行ったスタッフがおりそのスタッフから情報を得たりしているが、相互訪問等の交流は行っていない。		地域・県等の協議会などに加入され職員同士が交流・情報交換することにより互いのサービスの資質の向上が出来る事を期待する。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	現在は、入居前に家族が見学を訪れることはある。入居に関してはオーナーが馴染みの関係を作る事により成り立っている。		入居にあたっては、入居者・家族が少しでも安心して入居できるように、お試し入居・自宅への訪問など試みながら入居される利用者・家族がホームの雰囲気になれていたかしながら入居に出来るような体制を構築していただける事を期待する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居されている方に、昔の歌を教えていただく。野菜の種まきの時期を相談するなどご本人と共に生活する体制が作れるよう心がけている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族との直接的な意見の交換はオーナーが行っている部分が多いが、訪問時の家族との会話を記録した記録等により職員が家族・本人の意向をくみ取ろうとする様子が読み取れた。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員会議等で話し合う、面会時等に家族の意向を確認するなどしながら介護計画が作成されていた。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は入居者本位に作成されていたが、定期的な見直しがされていない状況であった。また、作成された介護計画が介護の実践に活かされておらず、日々の記録に反映されていない。	○	作成された介護計画が職員間で共有されそれに基づいた介護の実践に繋げていただける事を期待する。それらを実践しその意見を集めて介護計画の見直しに繋げていただきたい。更にもその介護計画に家族の確認をとっていただける事を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスにある大きなお風呂を一般開放する試みもあったが、様々な理由で断念した経緯もあるように、積極的に柔軟な支援を試みている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な医師の訪問もあるが、係りつけ医師がある方には職員が付き添い継続的な支援が出来るような体制がとられている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在は、終末期に向けた家族との話し合いはもたれておらず、緊急時は医療機関に搬送する仕組みになっている。	○	認知症の方が住みなれた場所で終末期を安心して過ごせるように、事情所の方針等を明確にいただき、ターミナルに対する家族の意向の把握、マニュアルの作成をしていただける事を期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報に関する同意書は作成されている。しかし、写真掲載に関する同意は言葉による同意のみとなっている。		個人情報保護方針等を作成され、写真掲載に関する同意等が文章で取られ入居者の個人情報適切に利用される事を着ないする。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活においては、ご本人の過去の歴史等を聞き取りながら介護しており、その方の生活の仕方を尊重し生活できるように支援されていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の体調・好み等を考慮しながらメニューが作成されている。また、入居者と共に相談しながら食事の準備もされていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、その方の生活のリズムにあわせ日中の時間帯であればいつでも入浴できるような支援がされていた。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の生活の中で、楽しみごとを多く取り入れる仕組みがされており、近隣のボランティアさんも沢山訪問できる取り組みがされていた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出支援は、ご家族が来所された時に外出する程度に留まっており定期的な外出支援はできていない。	○	近隣は緑豊かな環境であり日常にお散歩を実施するには適切な環境であると思われる。買い物・日々のお散歩と自宅におられる時の様な日常を再現していただける事を期待する。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関が職員の目が届かないところにある事もあり家族の同意を得ながら玄関に日常的に施錠が施されている。		外的な脅威から入居者を守るための施錠は通常であると思われるが、鍵が懸かっている事の閉塞感を忘れず、普通の日常を取り戻す試みを忘れないでいただける事を期待する。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時・事故に対する連絡方法等は個人個人作成されている。近隣の消防署と連携しAEDも整備され訓練もされている。		広域の災害・水害等に対し地域の方と連携し被害を最小限にとどめる、また食品の備蓄等も検討していただき災害時に地域の方と協力できるような体制の整備を期待する。

茨城県 グループホーム『えがお』

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量・水分の補給についても記録がされ個人の習慣等が把握され適切な支援がされていた。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広大な敷地の中の緑豊かな環境を活かし季節感の漂う居心地の良い空間作りがされていた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	貴人個人の部屋には馴染みの品物が持ち込まれている方もおられ、入居者が居心地よく生活できるような支援がされていた。		